

〔教職課程の養成方針〕

- 1 教職に関する幅広い基礎知識と取得免許種に応じた教育の専門職としての深い知識を身につけ、幼児児童生徒の実態や課題に合わせて授業や環境の構成、教材・教具を工夫し指導方法を探究することができる。(教職としての専門的知識)
- 2 適切な子ども理解に基づき、生徒指導・教育相談を含む個の発達に応じた支援や学級経営などを、子どもの育ちに関わる一員として他の教員・保護者・関係者と協働して実践できる。(子ども理解)
- 3 学校教育と学校を取り巻く地域や現代社会の諸問題に関心をもち、問題解決のために対応を議論し行動することができる。(学校と社会)
- 4 教育者、保育者等の専門的職業人としての使命感・責任感をもち、理論と実践を結び付けながら自ら学び求める姿勢を持ち続けることができる。(自己形成)

		教育研究科目 教育DX・探究科目	幼保小架け橋科目			教育実践	教職体験科目	子ども理解科目			後期
		(方針3,4)		(方針1,2)		(方針1,2,3,4)	(方針1,2,3,4)	(方針2,3,4)	(方針1,2,3,4)	(方針1,3,4)	4年次
4年次	後期	教師コミュニケーション力演習 学習環境構成と学習指導改革 授業力アップと研究・研修力 教師力総合演習 社会的養育実践論 デジタルシティズンシップ論	幼保小 連携研究	教育相談	生徒・道徳・総合的 教育な 相学 習等 の 時 間、	教職実践演習 (幼・小・中・高)	幼稚園教育実習 (保育初等 教育専修外) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	子ども 理解活動Ⅱ	保育内容指導法 (方針1,3,4) 保育内容総論 幼児と音楽表現 幼児と造形表現 保育内容演習(健康Ⅱ)	専修教科科目(中等／ 保育初等教育／ 特別支援教育／ 学校心理)	後期
	前期										前期
3年次	後期	外国人日本語教育と 国際理解 人権教育		教育社会学 教育行政学 特別支援教育基礎 教育課程論	生徒・道徳・総合的 教育な 相学 習等 の 時 間、	幼稚園教育実習 (保育初等 教育専修) 小学校教育実習 中学校教育実習	幼稚園教育実習 (保育初等 教育専修) 小学校教育実習 中学校教育実習	子ども 理解活動Ⅰ	保育内容演習(健康Ⅱ) 保育内容演習(言葉Ⅱ) 保育内容演習(表現Ⅱ) 保育内容演習(表現Ⅲ) 保育内容演習(人間関係Ⅱ)	卒業研究 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	後期
	前期										前期
2年次	後期	データサイエンス	遊び学	教育の基 礎的 理 解	道徳教育の指導法 特別活動・ 総合的な学習の 時間の指導法 教育の方法と技術 (情報通信技術の 活用含む)	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅰ	教育実践観察 (方針1,4)	介護等の体験 (含事前事後指導) (方針1,4)	初等教科教育法(生活) 初等教科教育法(家庭) 初等音楽Ⅱ 初等図画工作Ⅱ 初等体育Ⅱ	後期
	前期										前期
1年次	後期	教育DX・ 探究活動Ⅰ	教育基礎論 教師論 教育心理学					学校 ふれあい体験	保育内容演習(健康Ⅰ) 保育内容演習(言葉Ⅰ) 保育内容演習(表現Ⅰ) 幼児と健康 幼児と言葉 幼児と環境 幼児と人間関係 幼児と表現	初等教科教育法(国語) 初等教科教育法(社会) 初等教科教育法(算数) 初等教科教育法(音楽) 初等教科教育法(図画工作) 初等教科教育法(体育) 初等教科教育法(英語) 初等国語(含書写) 初等社会 初等算数 初等理科Ⅰ 初等生活Ⅰ 初等音楽Ⅰ 初等図画工作Ⅰ 初等家庭Ⅰ 初等英語	後期
	前期										前期